

4. 水辺空間と公園・緑地の整備

(1) 海蔵川緑地及び河川敷の整備と魅力向上

①海蔵川緑地の全体的な空間整備

【現状と課題】

λ 海蔵川緑地は、毎年桜まつりが盛大に開催されるなど、地区内に留まらず四日市市の中心といえる場所となっています。今後も、自然を感じることができる憩いの空間として、あるいは健康づくりや運動の場として、だれもが集い、楽しめるようなところにするのが課題となっています。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 海蔵川緑地を「身近な自然」として大切にし、ごみのポイ捨てをしないのはもちろんのこと、犬のフンの適切な始末や環境の美化に心がけます。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 地区の財産である海蔵川について、桜並木の由来やこれまでにやってきた保存・環境美化活動などをとりまとめ、小冊子や案内板にするとともに、地区の子ども達に学ぶ機会を提供します。 ○ 地区社協環境部など各種団体が行っている定例の清掃・環境美化活動をより一層拡大して実施します。また、海蔵川の堤防などに季節の花を植える取り組みなどを検討します。
行政・関係機関に働きかけること	○ 本市における緑地景観のシンボリックな場所としての位置付け、安全対策・自然環境保全と併せた緑地の整備などを働きかけます。 ○ 末広橋より上流部の雑木・土砂を取り除き、連続した河川沿いの景観形成を働きかけます。



「海蔵川こどもの日週間」の海蔵川緑地



地域で取り組む海蔵川堤防清掃

②海蔵川沿いの桜並木の保存・活用・魅力づくり

【現状と課題】

- λ 海蔵川左岸の桜並木は、古木化が進んでいる樹木の保全、連続性の確保が求められます。現在は、地区社協の環境部や三ツ谷町の保勝会などが環境美化等の活動を行っていますが、今後は、桜並木の保存・活用・魅力づくりに向けた取り組みを、地区全体で進めることが望まれます。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 地区社協環境部など各種団体が行っている定例の清掃・環境美化活動に積極的に参加します。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 地区社協環境部など各種団体が行っている定例の清掃・環境美化活動を拡大して実施します。＜再掲＞ ○ 古木化している桜並木の保全・再生を図るため、桜など樹木の手入れや堤防の美化を継続して行うボランティアを募ります。
行政・関係機関に働きかけること	○ 桜並木を維持するための支援を働きかけます。



古木化が進む桜並木

③桜まつりなど地区ぐるみのイベントの開催・継続

【現状と課題】

- λ 毎年春に開催される桜まつりは、地区内の各種団体が集まり「海蔵川桜まつり実行委員会」として企画・運営がなされています。今後も、地区ぐるみでの開催を継続するとともに、市全体のイベントとしての役割を果たす取り組みを検討する必要があります。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ イベントの企画・運営等にスタッフとして積極的に参加し、ごみの収集や清掃、見回りなどを積極的に行います。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 実行委員会形式で取り組んでいる桜まつりは、現状の規模で継続することを前提とします。また、今以上にイベントの対象・規模を拡大する場合などは、必要に応じて今後の企画・運営のあり方を検討します。 ○ 桜並木の維持管理や各種イベントにかかる費用を確保するため、支援金・協賛金などの協力を地区内外の市民に呼びかけます。
行政・関係機関に働きかけること	○ 市の象徴的な桜まつりである、海蔵川桜まつり実行委員会への委員としての参画や予算の確保、交通規制への協力など、より一層積極的な支援を働きかけます。



多くの市民でにぎわう桜まつり

④ジョギングやウォーキング、散歩などのための河川敷の整備

【現状と課題】

- λ 海蔵川緑地及び河川敷は、多くの地区市民がジョギングやウォーキングなどに取り組む健康づくりの場となっています。しかし多くの人が利用する左岸は、堀川からの樋門などにより、河川敷の連続的な整備が難しい状況にあります。

【今後の方向性】

行政・関係機関に働きかけること	○ 樋門により分断される左岸の河川敷について、安全性を確保しつつ、ジョギングやウォーキングを行う市民がより快適に利用できるよう整備を働きかけます。
-----------------	---



堀川の樋門水路が横切る海蔵川緑地

⑤海蔵川の環境整備・親水空間整備

【現状と課題】

- λ 海蔵川にはコイなどの魚が生息しており、橋の上や河川敷からも眺めることができます。今後、河川敷の環境整備に合わせ、安全性を確保したうえで親水空間を整備することが望まれます。

【今後の方向性】

地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 子ども達に海蔵川の未来の風景を描いてもらうコンテストの開催、子ども達の環境学習活動等で得られた生息生物の情報を看板表示することを通じて、海蔵川の風景・自然を地区の財産として共有します。 ○ 末広橋より上流部の河川敷について、可能な限り地区市民が手を入れ、部分的に行政の支援を仰ぐことで、安全性・快適性と自然とが共存する「里川」としての整備を進めます。
行政・関係機関に働きかけること	○ 野鳥の保護を目的に活動する機関・団体と連携し、生息調査を行うとともに、河川の安全性と自然との共生に向けた整備のための話し合いを行います。



雑草や雑木が生い茂る末広橋上流の左岸低水敷

（２）菖蒲園の環境美化と堀川の水質向上

①菖蒲園の維持管理等

【現状と課題】

- λ 堀川の下流部に位置する菖蒲園は、地区社協の花部が中心となり、地区内の各種団体が協力して菖蒲の植栽と維持管理を行っています。今後も、より多くの担い手により維持管理や草取りを継続することが望まれます。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 地域清掃や地区社協花部の活動に積極的に参加し、環境美化の担い手となるよう努めます。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 菖蒲園及び周辺を、緑化や花いっぱい運動の拠点として位置けるとともに、四季を通じて花を楽しめるよう地区全体で維持管理を推進します。 ○ 植物の維持管理に関心を持っている地区市民を発掘し、菖蒲の植栽や維持管理の活動に気軽に参加できるようにします。また、菖蒲のオーナーとなる‘株主’制度を導入するなど、菖蒲園の維持管理に向け、地区ぐるみで応援するしくみを充実します。
行政・関係機関に働きかけること	○ 菖蒲園の維持管理を継続して行えるよう、さらなる活動の支援を働きかけます。



地域で維持管理する堀川菖蒲園



菖蒲園でEM菌液を投入する山手中学校生徒



菖蒲まつりを楽しむ海蔵幼稚園児

②堀川のあり方検討と整備

【現状と課題】

- λ 地区内の雨水排水路となっている堀川は、上流部の住宅地における生活雑排水が流れ込み、ヘドロが沈殿するなど全体的に水質が悪いため、安全性確保と水質改善が課題となっています。特に、冬季は水量が少ないため匂いも気になることから、ヘドロの除去など環境改善の取り組みが求められます。
- λ また、長期的には、雨水排水対策や水質改善の観点から、堀川及び菖蒲園周辺の今後のあり方を検討することが望まれます。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 地区内外を問わず、下水道の接続を進める一方、各家庭において生活排水の浄化に努めます。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ EM菌を活用するなどして堀川の水質浄化に取り組みます。 ○ 雨水排水を含む水害対策や環境の保全、農業用水としての利用などさまざまな側面から、堀川及び菖蒲園周辺の今後のあり方や整備の方向性について検討を進めます。
行政・関係機関に働きかけること	○ 堀川の安全性の向上を図るため、排水機の設置並びに三滝新川[分派]の工事に合わせた整備を働きかけます。 ○ 堀川の水質改善を図るため、上流部における下水道の整備及び接続率の向上を働きかけます。



ヘドロが堆積する堀川



堀川へ EM 菌だんごを投入する海蔵小学校児童

(3) 地区内の公園などの維持管理と利用促進

①公園の確保と維持管理

【現状と課題】

- λ 海蔵地区では、区画整理などの際に整備されたところを除き、全体的に公園が少ないのが現状です。
- λ 現在、地区内の公園の多くでは、子どもなどの日常的な利用はそれほど多くありません。今後、地域清掃などにより利用しやすい環境づくりを行うとともに、地区として意識的に利用機会を提供することが課題となっています。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 地区内の公園を快適な環境に維持するため、地域清掃などの活動に積極的に参加します。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 東阿倉川など公園が整備されてないところについては、用地となり得る場所を確保し、公園として整備できるよう取り組みます。 ○ 自治会等で管理を担っている公園については、定期的に地域清掃を行うなどして、だれもが快適に利用できる公園となるよう、責任を持って維持管理に努めます。
行政・関係機関に働きかけること	○ 公園用地が確保できた地区において、公園の整備を働きかけます。 ○ 地区において公園の維持管理がしやすいよう、各種活動の支援を働きかけます。



万古町いぬなし子ども広場



阿倉川新町公園

②地域の特性やニーズに応じた公園の有効活用

【現状と課題】

- λ 公園は、子どもの遊び場として、また保護者同士の交流の場として重要な役割を担っていますが、近年は、主な利用者が子どもだけでなく高齢者に広がり、求められる機能が遊び場だけでなく災害時の拠点などへと広がっています。今後、地域の特性や市民のニーズに応じた公園の有効活用方策を検討することが求められます。
- λ 防災倉庫が設置されている公園では、防災公園としての機能を高めることが望まれる一方、本郷2区のふれあい公園や西阿倉川の楠の木公園にあるロープ式ジャングルジムなどのように、個性ある遊具の人気の高くなっています。また、介護予防にもつながる健康遊具などの設置が求められているところも少なくありません。
- λ 野田排水機場に隣接している野田公園については、野田からも遠く、利用しづらいことから、安全性の確保なども含め、今後のあり方を検討することが課題になっています。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 積極的に公園を利用する一方、維持管理に関わる活動に参加して、地域の憩いの場となる公園づくりに努めます。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 高齢者等を対象にしたラジオ体操や介護予防体操を行うなどして、公園を有効に活用します。 ○ 防災倉庫や災害に備えた設備（仮設トイレ用マンホール、炊き出し用コンロになるベンチなど）の整備や子どもが楽しめる遊具の設置、高齢者の健康づくり用の健康遊具設置など、地域の特性・ニーズに応じた公園の再整備を検討します。 ○ 野田公園について、安全性や子どもの遊び場の確保といった視点から、今後のあり方について検討を進めます。
行政・関係機関に働きかけること	○ 公園の再整備に際して、地区の特性やニーズに応じた都市公園のリニューアルを働きかけます。



西阿倉川の楠の木公園



本郷2区ふれあい公園

③ 万古広場の環境美化と有効活用

【現状と課題】

- λ 通称：万古広場は、子どものドッジボールの練習場として民有地を利用させていただいていることから、遊具や設備の設置が難しいものの、地区の一時避難場所にもなっており、環境美化に向けた取り組みや有効活用が望まれます。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 万古広場の清掃に参加し、子どもをはじめ地区市民が快適に利用できる環境づくりに努めます。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 地区の避難所にもなっていることから、適切な維持管理を行います。 ○ ドッジボールの練習場としての役割に加え、地区の一時避難場所あるいは高齢者等のグランドゴルフの場としても十分に役割が果たせるよう、さまざまな活用方法を検討します。
行政・関係機関に働きかけること	○ 民有地を活用した広場利用に対して、地区が主体的に維持管理を行うための支援を働きかけます。



災害時一次集合場所ともなっている万古広場

（４）地区内の自然資源の保全と活用

①イヌナシ・アイナシの生息環境の保全

【現状と課題】

- λ 地区内にはナシの原種といわれているイヌナシとアイナシの自生地があり天然記念物に指定されています。これらは学術的に貴重なものであり、地区として保全する責務があります。
- λ 天然記念物として保存が主目的であるイヌナシ及びアイナシについては、それにより地区内外の市民をむやみに呼び込むことを目指していません。
- λ 今後、イヌナシ・アイナシの学術的価値やその保存活動について周知するとともに、保存会と連携した保全活動を継続することが課題です。

【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ イヌナシ・アイナシについて関心を持つとともに、学習の機会や環境保全のための活動に積極的に参加します。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ アイナシ保存会と連携して活動を推進するとともに、関心のある地区市民がイヌナシ・アイナシの保全活動に継続的に関われるよう、しくみを検討します。 ○ 地区内外の市民に、イヌナシ・アイナシについて学習会や観察会など学習する機会を提供するため、関係機関と連携した学習プログラムを提供します。
行政・関係機関に働きかけること	○ 現在は立ち入りが規制されているアイナシ自生地周辺について、生息環境を損なわない範囲で見学ができるような散策路・見学路の整備を働きかけます。



東阿倉川地内にあるイヌナシ自生地



西阿倉川地内にあるアイナシ自生地

（５）垂坂山及び周辺的环境整備

①垂坂山（公園区域外）及びアプローチの整備

【現状と課題】

- λ 垂坂山はかつて市内の多くの小学校で遠足先となっており、地区市民にもさまざまな思い出が残っている場所です。現在は、垂坂公園・羽津山緑地として整備が進められているものの、大正天皇御駐蹕碑の周辺は計画区域外で、昔の面影を感じることはできません。
- λ 海蔵地区から垂坂山へのアプローチである市道認定された道路及び道端の整備を含め、垂坂山及び周辺の整備に向けた検討・取り組みが望まれます。

【今後の方向性】

地域組織・各種団体が 取り組むこと	○ 海蔵地区側から垂坂山までのアプローチについて、整備を考えるグループを立ち上げ、視察を行うとともに整備の必要性や具体的な手法について検討を行います。
行政・関係機関に 働きかけること	○ 具体的な検討内容を元に、市道認定されたアプローチの整備を働きかけます。



荒廃した垂坂山への市道



垂坂山山頂にある大正天皇御駐蹕碑

凡 例	
海蔵小学校区	■■■■■
1. 河川の安全性向上と排水対策	■
2. 地区内の交通の利便性と安全性の向上	■
3. 地場産業と歴史を生かした地区の魅力づくり	■
4. 水辺空間と公園・緑地の整備	■
5. 計画的・合理的な土地利用の推進	■
6. 安心して暮らされ続ける居住環境の向上	■

緑字：地域組織・各種団体が取り組むこと

茶字：行政・関係機関に働きかけること

